会 議 記 録			
会 議 の 名 称	上桂川対策特別委員会	会議場所 第2委員会室	
		担当職員 三宅	
日 時	平成25年11月19日(火曜日)	開 議	午前 9 時 5 0 分
		閉 議	午後 0 時 0 2 分
出席委員	西口 中村 馬場 藤本 湊		
出席理事者	高屋まちづくり推進部長、古林まちづくり推進部担当部長、森都市計画課長、並河桂川・道路整備課長、柴田桂川・道路整備課担当課長、関口桂川・道路整備課副課長		
出席事務局	三宅		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員 名

会 議 の 概 要

9 : 5 0

1 開議（西口委員長あいさつ）

<事務局日程説明>

2 議題

（ 1 ）桂川本川及び支川改修状況等の現地視察

[9 : 5 5 出発～ 1 1 : 2 5 帰着]

[休憩]

1 1 : 3 5

（ 2 ）河川整備促進に向けた委員会の取り組みについて

<西口委員長>

現地視察の実施により、河川整備状況等を確認し課題点等を共有した。今回の視察を通じて、まず各委員からの意見を伺いたい。

<藤本委員>

雑水川改修状況に係り、南郷池下流部及び上流部の整備計画区間の早期事業着手を求める必要がある。北町等ではゲリラ豪雨による被害が同様に起こる可能性があることから、水害常襲地における河川改修の早期実施を要望すべきである。

<湊委員>

特別委員会の設置により、委員長は行政とともに国等へ要望活動を行っていただいているが、それらの取り組みが他の議員を含め今一つ理解されていない。台風18号災害に伴い、川東方面を中心に要望の声が高まっており、議会報告会等においても、議会として今後どのような動きをしていくのかということが求められている。本川の改修には下流域の整備が必要なことから国への要望等の取り組みとなるが、

そのような取り組みを行っていることは、もっと議会広報を通じて外に向けてPRすべきである。市民の関心も高く、特に今回の18号に関して、議会の取り組みを発信すべきである。

<西口委員長>

先日、議会報告会の馬路会場でもそのような意見が出され、桂川改修促進期成同盟とともに要望活動等を行っていること、その中でも、私の立場からは、特にスピード感を持った整備促進を強調して要望していることを報告したところである。

<馬場委員>

現地視察、また今回の台風18号により感じるところ、一つには日吉ダムゲートの放流により、大量の土砂が流入し、とりわけ宇津根橋周辺では河床の様相が変わっている程、土砂が堆積している。早急に浚渫を実施するように、また河川機能を日常的に維持できるように京都府に対し強力に要望すべきである。

二つ目に、土木事務所が本市内にないことから、対応が後手となっている。河原町の浸水に伴う王子並河線の通行止めの対応等において遅れがあったことから、機敏な対応を求めたい。

三つ目に、桂川の下流域に係り、京都市内でも多くの被害に見舞われたことから、被害状況に応じた下流域整備を早急を実施することを国に要請すべきである。

<西口委員長>

河川の浚渫に関しては、すぐに実施できることとして、期成同盟からも強く要望を行っており、私からも早急を実施されるよう特に要望した。

このような活動をどのように広くアピールするかということについて、これまでの会議の積み重ねにより、早期治水対策の強化を求める意見があり、また先の台風18号では、議会から国に対して意見書を提出し、桂川の抜本的整備の促進を要望している経過も踏まえると、今回、京都府に対して整備促進を要望、アピールするチャンスであり、この機を逃してはならないと思う。そこで、京都府に対する意見書案を当委員会から発議してはどうかと提案する。素案をまとめたので、事務局より配付、朗読願う。

(意見書案を配付、朗読)

<西口委員長>

ただ今の意見書案について、全員一致できる内容で提案していきたいと考える。ご意見を。

<馬場委員>

内容について了。開会日冒頭に提案する異例の取り扱いが可能か。

<事務局>

議会運営上の申し合わせとして、意見書案は閉会日に上程することを例としており、議会運営委員会で協議する必要がある。

<馬場委員>

日程上、間に合えば調整願いたい。

<藤本委員>

本文中、「亀岡駅北側で計画されている面的整備に整合した治水対策の強化」とあるが、今やはり本市においては、スタジアム誘致が決定し進行している中で、台風18号による浸水があったことから、盛土等による水害の不安があるのが事実であり、そういった不安を払拭するためにも、しっかりと治水対策を強化してほしいことを盛り込むべきである。

<西口委員長>

表現が難しい部分であり、委員間の意見一致が得られるよう留意し、駅北側の面的整備という表現に留めたものである。

<馬場委員>

スタジアムだけではなく、土地区画整理事業等も含まれる内容であることから、この文面ですである。

<西口委員長>

この内容でよいか。<了>

<西口委員長>

発議者の取り扱いについて確認する。本特別委員会として意見書案を提出することかどうか。<了>

<事務局>

意見書案は、発議者を本特別委員会委員長名とした提出文により本会議に上程し、可決された場合は、議会の意思として、議長から京都府に提出することとなることを確認願う。

<藤本委員>

その場合、発議者は3名以上必要ではないのか。

<事務局>

委員会で全員一致の場合は、委員長名で発議することとなる。

<湊委員>

特別委員会が活動していることを示せばよい。

<中村副委員長>

京都府に対しては、議長名となるのか。

<事務局>

議会として提出することとなるので、議会の代表である議長名となる。

<藤本委員>

議会運営委員会で了解を得る必要がある。

<西口委員長>

その流れで進めていきたい。<了>

3 その他

<西口委員長>

次回の開催についてご意見は。

<湊委員>

3川合流部の関連はどうか。

<西口委員長>

下流域の整備状況も把握すべきと考える。現地視察が可能か所管部と調整したい。日程等について正副委員長に一任願いたい。<了>

~ 散会 12:02